

4月27日開催 議会報告会意見に対する教育福祉常任委員会の回答

1. スクールバス

課題

- (1) 自宅から学校までの距離が以前は 1.5km だったと思うが、今は 2km となっている
- (2) バスの乗車人数を見るとガラガラ
- (3) 現在の交通事情を考えてほしい
- (4) 利用の在り方を再検討してほしい

■委員会より

児童数の変化や時代の変化に伴う交通量・交通事情の変化の把握に努め、現制度上の規定にあるスクールバスを利用できる児童の登校距離（2 k m）や、スクールバスの車種の選定の見直しを図り、小学校に通う児童が安全に登下校できる環境を整えるよう提言します。また、上高根沢小学校（小規模特認校）に通う児童の送迎の在り方として、有償・無償について協議するとともに、上高根沢小学校学区外から通う児童の送迎に合わせ、学区内の児童を同乗出来るようにするなど、毎年変わる登下校の環境変化に対応できるよう、適時調査し見直しを図るよう合わせて提言いたします。

2. 東小学校跡地利用

課題

- (1) 運動場として整備してほしい
- (2) 出来なければ町民広場を改修してほしい
- (3) さくらスタジアムのような運動場にしてほしい

■委員会より

東小学校の跡地利用については、現在学校教育課所管ではなく、地方創生の観点から企画課へと移管されました。

現在までに、地域懇談会を2回実施し、昨年12月に報告書が町に提出されました。

その後、経営会議（庁内検討）、総合戦略会議において報告されたご意見について検証されました。

また、将来的に有効活用できる跡地利用にすべく、第3者からの視点でどのような利用が好ましいか業務委託で調査・検証をしてもらい、それを踏まえて「利活用検討委員会」を設置し、最終判断をしていく予定であります。

教育福祉常任委員会として、町民意見の聴収の在り方や、事業実施時には町民への説明責任をしっかりと果たすよう提言し、多くの町民が納得いく跡地利用に繋がられるよう、適時目を凝

らし、その都度意見を述べていきます。

3. 町民広場グラウンド改修

課題

(1) 栃木国体に間に合うよう芝を改修してほしい

■委員会より

町民広場の陸上競技場（グラウンド）は、2022年の栃木国体において公開競技（グラウンドゴルフ）とデモンストレーション競技（ペタンク）が行われるとともに、同敷地内トレーニングセンターでも、デモンストレーション競技（カローリング）が行われます。

現在、グラウンドゴルフ協会より、競技場の改修を要望されており、次年度にグラウンド改修をどこまで行うかを検討している段階です。

グラウンド改修に伴い、工事及び芝の養生期間を合わせると、一定の期間グラウンドが使用できなくなるので、教育福祉常任委員会として、使用できない期間において現在利用している団体等や各種大会実施において、代替措置を計画するよう提言します。

また、このような機会にトレーニングセンターの改修及び空調機器の設置を検討し、町民が快適に利用出来る施設となり、町民の健康づくりに寄与できる施設として施策展開するよう、重ねて提言いたします。